

## 平成23年度第3回成田市保健福祉審議会議事録

### 1. 開催日時

平成23年3月22日（木） 午前9時00分～午前10時30分

### 2. 開催場所

成田市花崎町760番地 成田市役所 行政棟6階 中会議室

### 3. 出席者

（委員）

亀山会長、青木副会長、高濱委員、田村委員、平間委員、山田委員、高木委員、秋葉委員、根本委員、林田委員、眞鍋委員、湯川委員

（事務局）

小泉市長、川口福祉部長、深山社会福祉課長、佐久間高齢者福祉課長、浅野介護保険課長、高橋子育て支援課長、吉井保育課長、相川健康増進課長、設楽社会福祉課主幹、三橋障がい者福祉課主幹、坂本介護保険課副主幹、石井介護保険課副主幹、三橋介護保険課副主幹、鈴木高齢者福祉課主査、窺障がい者福祉課主査、渡辺社会福祉課主査

### 4. 次第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 議事（1）第3期成田市障がい福祉計画（案）について（諮問）  
（2）第5期成田市介護保険事業計画（案）について（諮問）
5. 閉会

### 5. 議事（要旨）

#### （1）第3期成田市障がい福祉計画（案）について（諮問）

事務局より資料に基づき説明を行ったところ、以下のような疑義及び意見があった。

委員 障害者虐待防止法が10月に施行されているが、それに関連して擁護者の支援のためのネットワークの構築が必要である。また、障がい者の雇用に関しては継続して雇用していくような体制を築いてもらいたい。

事務局 H21年度から緊急雇用事業が行われており、現在まで6人が正式雇用されている。就労に関しては引き続き力を入れていきたいと考える。虐待防止に関しては、来年度10月を目途に県がマニュアルの作成を進めているので、その点を勘案しながら進めていきたい。

委員 障害者福祉タクシーの助成が成田市は上限2,000円という事で恵まれている状況であると言える。また、オンデマンド交通が実施されると聞いているが、利用できるのは高齢者だけなのか。障がい者も利用できるようにした方が良いと思う。あとなにかあると児童委員・民生委員の責任が問われる事があるが、そこまでは求めることはどうなのか。市が民生委員をもっとバックアップして、地域の連携を強めるべきである。

事務局 オンデマンド交通の実証実験は昨年12月から中郷・久住・豊住・下総で実施している。エリア在住の70歳以上の方が対象である。介護認定を受けている方や障害者手帳をお

持ちの方に対しては、社会福祉協議会で行なっている移送サービスで対応させて頂いている。

- 委員 オンデマンド交通は利用者の玄関先まで行くのか。
- 事務局 自宅から 100m くらいの場所に乗降所を設置している。
- 事務局 何かあると民生委員の責任が問われると言う事に関して、成田市では福祉部 4 課での横の連携を取っており、民生委員だけに責任が行くような事態にならないように努めている。各地域においても地区社協などそれぞれのコミュニティにおいて活動をして頂いている。
- 委員 たしかに成田市の福祉部の窓口の対応は良いと日頃から感じている。あとは地区社協の障がい者に対する取組を強化して頂きたいと思う。さらに民生委員の方が自治会との連携を取って、それを市がバックアップしていく体制が望ましいと思う。
- 委員 やはり民生委員だけでなく地区社協も協力し、隣近所の付き合いを大切にすることにより、普段の状態を把握しておくことが大切である。

## (2) 第 5 期成田市介護保険事業計画 (案) について (諮問)

事務局より資料に基づき説明を行ったところ、以下のような疑義及び意見があった。

- 委員 基準額の改定について事業所から意見はなかったか。
- 事務局 案がでた段階では事業者側から話は無かった。
- 委員 第 6 期計画の時は地域の実情に合わせてもっと細分化してほしい。
- 委員 今回の改定でデイサービスの質が落ちることが予想される。予防介護は半日で帰すということになりそうであり、家族の方の時間の使い方が非常に難しくなる。また入浴サービスが受けられなくなることも懸念される。支援 1 から介護 1 への変更申請は無理であるから、クレームが出るのではないか。事業所を選べば同じ内容のサービスを受けられる可能性もあるのでは。
- 事務局 事業所の動きはいろいろあるが、混乱のないようにしたい。
- 委員 居宅療養管理指導の希望は増えているようだが、成田市ではどのくらいの病院が実施しているのか。また高齢者見守り事業はどのような状況なのか。
- 委員 在宅療養を受け持っていると知っているのは知っている限り 4 件しかない。
- 委員 今後需要は増えると思うので、市で応援してくれる方策を検討して頂けるとありがたい。
- 事務局 高齢者見守り事業についてですが、市内では 3 か所が手を挙げている。
- 委員 家を訪問することは大事であるけれども、見守り事業に対しては体制が整っていないため、何かあった時の対策がない。責任体制を整えた上で進めてもらいたい。そのことは行政の役割であると考えている。
- 委員 青空会というボランティア活動を行っているが、ボランティアの人も高齢化が進んでいるため、出向かいのバスを手配して頂けるとたすかる。もう一つは遠山地区に介護施設ができたが、介護職員が足りないため利用者が少ないようである。
- 事務局 出向かいバスについては、今後、協議をさせていただきたい。
- 事務局 蓬莱の杜は介護職員が確かに少ない。

委員 成田市薬剤師会で高齢者福祉課と委託契約を締結し、紙おむつの宅配事業を行っている。通り一遍の宅配では無く、安否確認を行うなどサポートの一端を担っていきたい。また、民生委員や地区社協とも連携を取ることが大事であるとする。

## 6. 傍聴

(1) 傍聴者 無